



## 電気器具等からの火災の答えはこちら

Q4. 下図の火災発生メカニズムは何現象というか？

### 答え：トラッキング現象

※毎年 10 件程度トラッキング現象が原因で火災が発生しています

コンセントとプラグの隙間にホコリが溜まり、そのホコリが空気中の湿気を吸収することで、漏電し発火する現象のこと。



#### ✓ コンセントやプラグの清掃・点検をしましょう。

長期間差したままになっているプラグはありませんか。ホコリがたまらないよう、定期的に掃除して下さい。長期間使用しない製品のプラグは、抜いておくとう安心です。

#### ✓ プラグは根元まで差し込みましょう。

プラグとコンセントに隙間があるとホコリがたまってしまいます。しっかり根元まで差し込んで使用して下さい。

#### ✓ トラッキングを防止する製品を使用しましょう。

コンセントへのホコリや異物の侵入をブロックするカバー、キャップが販売されています。購入を検討してみてください。

Q5. 電気コードで出火する原因となるのは次のうちどれ？

### 答え： 1・2・3・4

A: 電気コードの上に家具など重い物がのっている

➡ 中の銅線や被覆をつぶしてしまい、短絡(ショート)により大きな電流が流れたり、発熱や発火の原因となります。

B: 電気コードを束ねたまま使用している

➡ 束ねた部分に熱が溜まりやすく、発熱発火の原因となります。

C: タコ足配線を使用している

➡ 一般的な家庭のコンセントは、2口となっており、合計 1,500W までなら使用してよいが、これを超えると発火のリスクが高まります。

D: 電気コードの被覆に傷がある状態で使用している

➡ むき出しになった状態の電線の両極(+と-)が接触してしまうと短絡(ショート)を起こして、出火する恐れがあります。

